学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	造形基礎	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形基礎（プロダクト）ではプロダクトデザインの作品制作に必要な基礎的造形力を養います。主に鉛筆デッサンやケント紙を用いた基礎的な造形を行うことにより、観察力・構成力・表現力を身に付けることができます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・デザイン分野に関する技術を実際の制作を通して理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】
・プロダクトデザインの技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
・プロダクトデザイン分野に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形基礎を理解するとともに、実習を通じて関連する技術を身に付けるようにする。	造形基礎の技術に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	造形の基礎に関する広い視野をも つことをめざして自ら学び、デザインの発展に主体的に協働して取り組 む態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	デッサン基礎	・校舎の写生　色のついたケント紙に校舎のデッサンを行う・２点モチーフデッサン色紙と缶	a:造形基礎に必要な基礎的な知識・技術を身に付け制作を進めることができているか。 b:デッサン、立体構成に関する課題を見いだすとともに科学的な根拠に基づき結果を検証し改善しようとしている。 c:主体的に協動して課題に取り組むことができているか。	学習状況の観察作品	学習状況の観察作品	学習状況の観察作品
2	デッサン基礎Ⅱ	・２点モチーフデッサン紙袋とブリキ缶・２点モチーフ着彩紙風船とビン・３点モチーフデッサン野菜（２個）箱・３点モチーフデッサンビン、ボール、布	a:造形基礎に必要な基礎的な知識・技術を身に付け制作を進めることができているか。 b:デッサン、立体構成に関する課題を見いだすとともに科学的な根拠に基づき結果を検証し改善しようとしている。 c:主体的に協動して課題に取り組むことができているか。	学習状況の観察作品	学習状況の観察作品	学習状況の観察作品
3	デッサン基礎Ⅲ	・３点モチーフデッサンテニスボール、布、箱・大型モチーフデッサン　石膏像	a:造形基礎に必要な基礎的な知識・技術を身に付け制作を進めることができているか。 b:デッサン、立体構成に関する課題を見いだすとともに科学的な根拠に基づき結果を検証し改善しようとしている。 c:主体的に協動して課題に取り組むことができているか。	学習状況の観察作品	学習状況の観察作品	学習状況の観察作品

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度